

第5期大分県地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について(令和5年9月改定)

概要

計画期間 2021(令和3)年度～2025(令和7)年度

基準年度 温室効果ガス:2013(平成25)年度
上記以外 :2019(令和元)年度

対象組織 県庁内全組織・全所属

削減目標

1 温室効果ガス排出量削減目標

取組項目	基準年度	基準年度実績	目標年度数値 2025(令和7)年度	削減目標
温室効果ガス総排出量	2013	60,971t-CO2	32,768t-CO2	46.3%削減

2 温室効果ガス排出抑制に資する取組の目標

取組項目	基準年度	基準年度実績	目標年度数値 2025(令和7)年度	削減目標
コピー用紙の購入量	2019	71,140千枚	60,469千枚	15%削減
コピー用紙の購入量 (県立学校)		78,382千枚	66,625千枚	
水の使用量		749千m3	712千m3	5%削減
可燃ごみの排出量		897千kg	852千kg	

令和5年9月改定の概要

1 温室効果ガス削減目標

2025年度削減目標を28%から46.3%に上方修正する。

2 主な取組について

①太陽光発電設備の設置

改 設置可能な県有施設(敷地を含む)について、日射条件や屋上を避難の場所とするなど他の用途との調整を考慮しつつ、その性質上適さない場合を除き、太陽光発電設備等を最大限設置することを目指す。

②県有施設のZEB化

新 新築、改修時において公共施設又は公用施設のZEB化を目指し、可能な限り省エネ性能向上のための措置を講じる。

③公用車の電動化

改 公用車の買い換え時等において、電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリット車、ハイブリット車等の電動車を可能な限り導入する。

④LED照明等の拡大

改

⑤再エネ電力の調達

改

再生可能エネルギー電力の調達を推進する。

3 推進体制

大分県環境マネジメントシステムの一環として、実行計画の進捗状況等を外部評価することとする。